



イチローだより

本田一郎事務所

〒808-0103 北九州市若松区二島1丁目3-25 TEL.FAX 093-701-5543

✉ ichiro_honda@aioros.ocn.ne.jp

令和5年6月議会

観光地若松の魅力向上と インバウンド受入れの推進について



昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類となり様々なイベントが大きな規制・制限をすることなく実施され賑わいを取り戻してまいりました。私の任期も残り約1年となりました。若松のため、北九州市のため、そして皆様の明るい未来を築くためにやるべき事をやり続けて参ります。今後とも変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。皆様におかれましては健康で明るい希望に満ちた年となりますようお祈り申し上げます。

市長が初めて編成する令和5年度当初予算案は、成長への再起動予算として、3つのポテンシャルを最大発揮するとしています。その3つのポテンシャルの中に、北九州市がアジアに近く、豊富な水資源、強じんな土地を持つ場のポテンシャルを掲げています。予算案の分野別概要を見てみますと、6つの分野を重点的に推進するとし、分野の一つであるわくわく・期待感あふれるまちづくりでは、スポーツ、文化、観光振興などの取組を強め、町のにぎわいを創出するとしています。

私自身、北九州商工会議所のメンバーの立場で、韓国で開催されたインバウンド視察研修会に参加しました。研修会のスケジュールは、観光地の視察のほか、ロッテJTBや観光関係者との意見交換会等が主な内容で、その過程で、韓国人が北九州市の観光地に向ける視線や意見はよいことばかりではなく、例えば、温泉がない、楽しみにしている食事や名物などのお勧めが分からないなどといった意見もあり、課題が山積していると感じました。よほど北九州市について尋ねてみると、門司港レトロや皿倉山の知名度は高いものの、若松についてはまだまだだと感じました。若松にもよいところがたくさんあ

ります。例えば、若松北海岸に位置する遠見ヶ鼻は風光明媚で、一面に響灘を望む景観、美しい夕日。また、周辺には宮崎の日南海岸で有名な鬼の洗濯岩と言われる岩場もあり、浸食地形を見ることが出来ます。さらに福岡県の指定天然記念物である芦屋層群を見ることもできます。このように、若松は日本をはじめ海外の観光客が楽しめる資源もたくさんあり、観光地としての魅力は申し分ないと自負しています。

そこで、3点お伺いします。

① これまでも何度か若松の観光について質問してきましたが、今回の予算案では、若松の観光に関する事業が幾つか上げられています。そこで、市長が描く観光地若松のグランドデザインについてどのようにお考えなのか、お聞かせください。

② 先ほど紹介した遠見ヶ鼻や鬼の洗濯岩周辺を訪れた方が少しでも長く滞在し、景観を楽しんでいただくためにも、遠見ヶ鼻への展望台の設置や鬼の洗濯岩周辺から御寺神社までの遊歩道の設置などにより、回遊性を高める取組が必要ではないかと考えますが、見解をお聞かせください。

③ 韓国人が好むオルシですが、若松区にはオルシのコースになり得る場所があります。それは、高塔山公園を起点に、若松区を縦走し、石峰山地の尾根を

たどって頼田貯水池を通り、グリーンパーク北ゲートに至る12キロメートルの遊歩道です。現在は雑草に覆われ、通行しにくい場所も散見されますが、年1回の定期除草が行われる8月は見通しもよくなるようです。オルシを楽しんだ後は、令和5年4月にオープンしたグリーンパーク内キャンプ場、また、その近隣にも80名が収容できるグランピング施設が同時期にオープンしており、宿泊も可能となっています。これらの施設からもインバウンドの受入れに積極的に協力すると言われています。自然を楽しめる若松区の観光の目玉の一つとして周知し、インバウンド受入れの推進を図ってはどうかと考えますが、見解をお聞かせください。

市長答弁

若松には神様が心を奪われたという景色が一望できる、夕日の名所遠見ヶ鼻や、干潮時に板状の岩盤を見せる千畳敷など、北九州市を代表する雄大な自然景観がございます。しかしながら、議員御指摘のとおり、若松の魅力が多くの方に届いているとは言えず、私としても歯がゆい気持ちではあります。そのような思いで、さきの市長選、選挙公約の7つの基本政策の中に、若松の観光地化を掲げたところでございます。

若松の観光地としてのポテンシャルとしましては、自然景観に加えて、石炭積出港として隆盛を極めた大正期の建築物が残る若松南海岸の歴史、ファミリー層に人気のグリーンパークや釣り、マリンスポーツなどのアクティビティ、国の重要文化財に指定されている若戸大橋のライトアップや、北九州市街を一望できる高塔山からの夜景、若松の食のブランドである潮風キャベツや水切りトマト、新鮮な海の幸などのグルメ、今後整備されるEVモーターズ・ジャパンのe-PARKや、響灘洋上ウインドファームなどの次世代産業観光